



熊本市議会議員(東区) 29年間、確実な議員活動

ふじやま英美



AIによる音声でお伝えます



ごあいさつ

向寒の候 皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。今年の夏は異常な高温の日が続き、気候変動のせい各地でいろいろな災害が発生しました。

私は先の熊本市議会第3回定例会で一般質問を行いました。今回は身近な問題で大きなお金を掛けずに、知恵と工夫で便利になり、喜ばれることを考え、交通渋滞解消などについて訴えました。交差点の渋滞解消対策では質問から1カ月で右折レーンの設置が実現しました。他の交差点も順次改善・改修が進むと思います。熊本市監査委員としても熊本市発展のため、引き続き努力を続けます。

即効性ある交通渋滞対策について

渋滞の要因は複雑で、自家用車の増加、道路や公共交通の整備の遅れ、地理的制約が影響している。即効性のある短期的な渋滞対策が求められており、交差点改良工事が有効で、用地買収をしなくてもコスト効果が高い。スマート交差点への改良工事を軸に考えるべきではないか。市長の見解を伺いたい。

市長答弁

スマート交差点は既存の道路スペースを再配置し、信号の調整で渋滞緩和を実現し効果があり、田迎3丁目交差点など3か所で導入、渋滞短縮やバス運行時間短縮など費用対効果が高く、市内全域で導入を検討。議員の提案については交通管理者と早急に検討を進めてまいります。



質問後、1ヶ月で改善(県道小池竜田線の交差点)

バリアフリー事業の推進について

市電の電停のバリアフリー化は進展しているが、歩道のバリアフリー化が遅々として進んでいない。歩道は様々な利用があり、改善が必要で、来年度シェアサイクル「チャリチャリ」の実施予定も関連している。「歩道のバリアフリー化に関する今後の方針」を市長にお尋します。

市長答弁

バリアフリー法改正を受けて、歩道のバリアフリー化を進めてきました。今年6月にはバリアフリーマスタープランを策定し、「成長する計画」に反映させ歩道の段差や傾斜などの課題に対処し、ブロック補修や通行に支障のある樹木の剪定など、誰もが快適に移動できる都市を実現するため、歩道のバリアフリー化を進めてまいります。



植樹帯で狭くなった歩道、自転車も通ります

歩道の安全対策について

自転車事故の増加や歩道上での問題など自転車利用による、歩道の安全性向上が重要であり、狭い歩道、植樹帯など明確な対処基準の策定が重要です。そこで1) 街路樹や植樹帯に対する対応基準、2) 過去の対策実績と今後の計画について、都市建設局長にお尋ねします。

都市建設局長答弁

街路樹や植樹帯の管理においては視認性が問題となる場合、地域状況や歩道幅に合わせて対策を検討し、撤去や剪定などを行っています。主要地方道の一部では、昨年度から安全性を重視して樹木の撤去を進行中で、引き続き市の景観と安全性を両立させるための対策を取ります。



安全・安心!歩行者と自転車の通行区分

学校プールの再編事業について

学校プール再編に関しては、公共施設のコスト削減とマネジメント改善の提案をし、令和4年度2校、本年度3校で実地し検証が行われました。以下の4点についてお尋ねします。「①今年度のプール再編モデル校の進捗状況 ②実施後の検証結果、効果、および課題 ③今後のプール建て替え対象校とモデル校の条件と数 ④今後の展望について」、以上公共施設のコスト管理と効率向上に向けた重要な取り組みとして、教育長の見解を求めます。

教育長答弁

学校プール再編事業では建て替え費用、維持管理費の削減、児童の泳ぐ力の向上や教員の負担軽減などに取り組んでいます。実施後のアンケート結果で児童・保護者・教職員の好意的な意見が見られ安全性や効果が高いが、課題として移動に時間を要する。授業時数確保と実施回数など工夫が必要です。プール建て替え対象校は17校で、現在8校が条件を満たしています。モデル実地は来年度にも2校程度を予定。展望としては、検証を踏まえて学校やスイミングスクール等と協議を進めたい。